



大会会長挨拶

北海道大会会長 種村明頼

皆さん、最後までありがとうございます。

はじめに、北海道小学校長会には、研究協議会開催に当たり、多大なるご尽力をいただきました。充実した素晴らしい大会となりました。感謝申し上げます。

さて、大会主題の実現を目指し、大会副主題「ふるさとの地から世界を見つめ 新しい社会の形成に向けて挑戦する子どもを育てる学校経営の推進」を掲げ、2日間にわたり、講演会、研究分科会、シンポジウム等により研究大会を進めてきました。文部科学省をはじめ、多くの皆様方のご協力をいただき、そして、会員の皆様の積極的な関わりにより、大きな成果をあげることができました。

大会1日目、文部科学省初等中等教育局教育課程課長 望月 禎 様より、ご講話をいただきました。我々校長が、この大会における研究を深めるうえで、そして、今後の学校を経営していく際の方向性等についてご示唆をいただきました。

午後の研究分科会では、北海道小学校長会は、分科会の充実を図るために、協議会資料の内容の充実を図るとともに、それを、事前に大会HPに掲載していただきました。

また、研究協議では、司会者が研究の視点を参加者に明確に示し、「参画型の分科会」「協議内容の見える工夫」など、今までの大会の成果と課題を継承し、新たな創造・発展につながるよう対応していただきました。発表者の内容については、創意・工夫された実践に基づき提言も含めた発表になっていました。グループ協議では、発表内容を踏まえ、それぞれの地区の実践やその成果と課題をもとに、「学校や校長の在り方」という視点で研究をまとめられていました。

本日の全体会で、大会研究部長さんより、研究協議のまとめをお話しされる中で、どの分科会で

も、改めて、「校長の役割と指導性」について追究されたことがわかり、大きな成果を感じ取ることができました。運営面で、多くの工夫を取り入れるとともに、校長先生方の積極的なご協議により、分科会が充実したものになったと思います。先ほど、研究部長さんに、校長の指導性として「明確な経営ビジョンを示す」「学校のチーム力を高める」の2点がとても重要であるとまとめていただきました。ありがとうございました。

シンポジウムでは、「ふるさと・挑戦・未来創造」というテーマで、北海道にゆかりのある、葛西紀明 様、佐藤麻美 様、青田 基 様、3名のシンポジストの皆様から、「ふるさと」「挑戦」「未来創造」というそれぞれのキーワードにもとづいて、私たち校長へのメッセージをいただきました。非常に示唆に富むお話をお伺いすることができ、多くのことを学ぶことができました。

全国連合小学校長会の研究は、「新たな知を拓き 人間性豊かな社会を築く 日本人の育成を目指す小学校教育」という研究主題にもとづいた研究と実践の積み重ねと、大会当日の会員の皆様の熱心な協議等により、ますますの深まりと広がりを見せております。来年度の秋田大会は現研究主題に基づいた研究大会としての最後であり、まとめの大会となります。その大会に向け、更に確かな一歩を力強く踏み出していきましょう。

結びになりますが、本大会の運営を組織あげて進めてこられました北海道小学校長会並びに函館市小学校長会の皆様をはじめ、関係の皆様方に感謝を申し上げますとともにご参加いただきました皆様方のますますのご活躍とご健勝をお祈りして、私の閉会の挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。